

ターペン可溶2液形フッ素樹脂系塗料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆



# ファイナフツツ



優れた耐久性を誇る、  
最上級の2液タイプフツツ。

ターペン可溶2液形フッ素樹脂系塗料

ニッペ **ファイナフッソ**



最上級なのに

オールマイティな使い方。

現場に  
これ1本

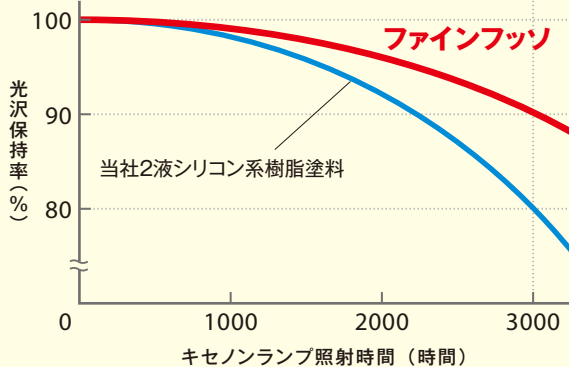
特長

ニッペファイナフッソは、4フッ化フッ素の構造に基づく非常に優れた耐候性を有します。4フッ化エチレンを成分とするフッ素樹脂を配合した、まさに究極を目指したフッ素樹脂系外壁塗料です。

1 高耐候性  
(耐候形1種の性能)

特殊処理技術を組み合わせた高耐候性フッ素樹脂系塗料により、優れた耐候性を実現しました。

[耐候性比較データ]



2 抜群の作業性・  
多目的用途

かぶり(隠ぺい性)がよく、塗装時の発泡がなく、抜群の塗りやすさです。乾燥が速く、冬場の施工にも安心です。また、各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、鉄部、FRP、硬質塩ビ部などの塗り替えに幅広く適用できます。

3 弾性仕様

外壁のひび割れに追従でき、各種弾性形塗料の塗り替えに適應できます。JISA6909防水形複層塗材E・REの上塗材としても対応しています。

4 防藻・防かび性

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

5 ターペン可溶

弱溶剤系であるため臭気がマイルドで、さまざまな下地に塗装できます。

6 低汚染性

親水化技術により、外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から建物をまもり、美しさを長持ちさせます。

7 透湿性

透湿性があるため塗膜の膨れや剥離を抑制します。

8 環境にやさしい

鉛などの重金属を配合していません。もちろんホルムアルデヒド・クロロピリホスも配合していません。



## 標準塗装仕様 (塗り替え)

### ■各種外壁 吹付けタイル・窯業系サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5 0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りにニッペファイン浸透シーラーを塗装してください。

※フッ素及び無機コーティングした窯業系サイディングボードの場合はニッペファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

### ■各種外壁 (旧塗膜面) 微弾性フィラー (なみがた) を用いた塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ パーフェクトフィラー	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5 0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※ニッペ パーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が速まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

### ■各種外壁 (旧塗膜面) 下地の模様を生かした塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ パーフェクトサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5 0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

### ■木部の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	よごれ、付着物などをサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	ニッペ 1液ファインウレタン100木部下塗	1	0.12~0.40	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー

### ■コンクリート面・モルタル面 弾性フィラーを用いた高防水性仕様の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
中塗り① (下塗り)	ニッペ DANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
中塗り②	ニッペ DANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5 0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

注) つや有りのみ適用可能です。つや調整品の適用は避けてください。

### ■一般鉄部、金属系地系アルミカーテンウォール、金属系サイディングボードの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ハイボンファインプライマーII	1	0.16~0.18	4時間以上7日以内*1	塗料用シンナーA	0~10 0~5	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインフツ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5 0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部には上記さび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、ニッペ 1液ハイボンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、ニッペ パーフェクトプライマーも使用できます。

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料 (さび止め塗料) で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※1 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。 ※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

※旧塗膜上塗りが1液形アクリル弾性の場合、メーカーによっては不具合 (縮み) が起きる場合がありますので、その日のうちに2回塗りで仕上げてください。

※可とう形改修塗材RE、防水形複層塗材RE仕様の場合、つや有りのみ適用可能です。つや調整品の適用は避けてください。

## 標準塗装仕様 (新設)

### ■コンクリート面 吹付けタイル仕上げ (JIS A 6909 複層塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー-透明	1~2*1	0.16~0.20	4時間以上5日以内*2	無希釈	—	ウールローラー、エアレススプレー
主材	ニッペ タイルラックEMA-Sベース100K	1~2*3	0.14~2.00*3	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペファインフツソ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

\*上記下塗り以外に、ニッペ 浸透性シーラー(新)、ニッペ 1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー ホワイト(JIS A 6909 下塗材相当)も使用できます。

### ■DANフィラーエポSの上塗りとして使用できます。(JIS A 6909 防水形複層塗材RE)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	ニッペ 水性カチオンシーラー-透明/ホワイト	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	透明:無希釈 ホワイト:0~10	はけ、ウールローラー	
中塗り	ベース吹き	ニッペ DANフィラーエポS	1	0.14~1.80	4時間以上	水道水	5~8	吹き付け(タイルガン)
	模様吹き	ニッペ DANフィラーエポS	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	吹き付け(タイルガン)
ヘッド押さえ	必要に応じてヘッド押さえを実施する。							
上塗り	ニッペファインフツソ	2	0.12~1.40	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー	
						0~10	エアレススプレー	

\*上記下塗り以外に、ニッペ 水性カチオンシーラー-ホワイト、ニッペ 浸透性シーラー(新)、ニッペ 1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー 透明、ニッペファイン浸透シーラー ホワイト(JIS A 6909 下塗材相当)も使用できます。

### ■コンクリート面 平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー 透明/ホワイト	1~2*1	0.16~0.20	4時間以上5日以内*2	無希釈	—	ウールローラー、エアレススプレー
上塗り	ニッペファインフツソ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

\*上記下塗り以外に、ニッペ 浸透性シーラー(新)、ニッペ 1液浸透シーラー、ニッペ 1液ファインシーラーも使用できます。

### ■一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、塵埃、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り	ハイボンファインプライマーII	1	0.16~0.20	4時間以上7日以内*2	塗料用シンナーA	0~10	はけ、ウールローラー
						0~5	エアレススプレー
上塗り	ニッペファインフツソ	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー
						0~10	エアレススプレー

\*一般鉄部には上記さび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、ニッペ 1液ハイボンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、ニッペ パーフェクトプライマー、ニッペ エスパワーンエースも使用できます。

\*さびが発生しやすい溶接部などの現場溶接部については、入念な下地調整後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

\*上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

\*カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

\*1 ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

\*2 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

\*3 記載している主材の使用量は、塗り回数1~2回で使用するトータル量です。



## 性能表

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	主材・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
混 合 性	塗料と硬化剤が簡単に混ざること。	合格
作 業 性	刷毛、ローラー、スプレー作業に支障の無いこと。	合格
ポットライフ (h)	5時間で使用できるものとする。	合格
60度鏡面光沢度	80以上	合格
耐 水 性 (23℃)	水に7日間浸漬しても異常が無いこと。	合格
耐 アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液に24時間浸漬しても異常が無いこと。	合格
促 進 耐 候 性	照射時間2500時間で塗膜に割れ・はがれ・ふくれがなく、光沢保持率は80%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて小さくなく、白亜化の等級が1以下とする。	合格
耐 酸 性	5%硫酸水溶液に7日間浸漬しても異常が無いこと。	合格

・製品安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 主な適用下塗り塗料

ニッペ パーフェクトフィラー
ニッペ パーフェクトサーフ
ニッペ パーフェクトプライマー
ニッペファイン浸透シーラー
ハイボンファインプライマーII
ニッペ 1液ファインウレタンU100 木部下塗り
ニッペ DANフィラーエポ
ニッペ アンダーフィラー弾性エクセル
ニッペ ファインパーフェクトシーラー

## 適用主材

ニッペ タイルラック1液EPO-Sベース
ニッペ タイルラックEMA-Sベース100K
ニッペ DANタイル中塗り
ニッペ DANフィラーエポS

## 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容 量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
ニッペファインフッソ	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り	16kgセット (塗料液14kg・硬化剤2kg) 3.2kgセット (塗料液2.8kg・硬化剤0.4kg) 塗料液:硬化剤=7:1(重量比)	塗料用 シンナーA	0~5	0.12~0.14	はけ、 ウールローラー
					0~10		エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## 乾燥時間

乾燥方法	5 ~ 10℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	2時間	1時間	30分
塗 り 重 ね 乾 燥	4時間以上	3時間以上	2時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 用途

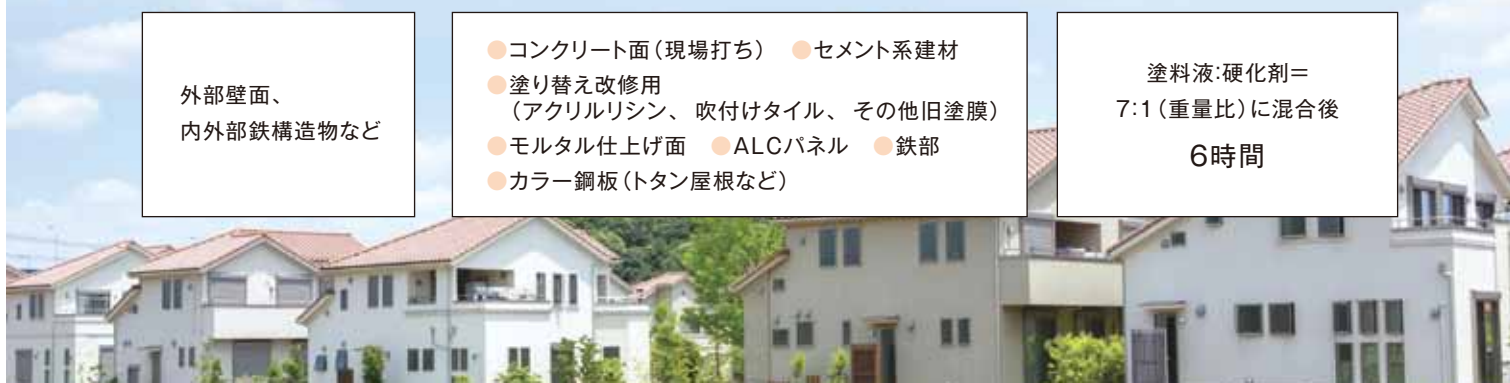
外部壁面、 内外部鉄構造物など
--------------------

## 適用下地

- コンクリート面 (現場打ち) ● セメント系建材
- 塗り替え改修用  
(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜)
- モルタル仕上げ面 ● ALCパネル ● 鉄部
- カラー鋼板 (トタン屋根など)

## ポットライフ (23℃時)

塗料液:硬化剤= 7:1(重量比)に混合後  6時間
-------------------------------------





## 施工上の要点及び注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- 1.「3~7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目「つや有り」、2回目「3~7分つや有り」をご使用ください。
- 2.暑熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗りがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、暑熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 3.FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整（目直し）を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- 4.貯水槽などで藻の発生を抑制するために遮光性を必要とする場合は、下塗りおよび上塗りともに規定の使用量をおまもりください。使用量が不足すると遮光性能が低下しますのでご注意ください。なお、塗装することでより太陽光の透過を完全に遮断するものではありません。一部の太陽光が透過しているため規定の使用量がまもられていれば、十分に藻の発生を抑制効果が得られます。
- 5.つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- 6.つや調整品では、塗りむらや補修でつやむらが出やすいので、面を切って塗して塗装してください。
- 7.過剰希釈をするとは本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈率をまもってください。
- 8.つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- 9.つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 10.防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 11.被塗物の構造、部位、塗装仕上げが形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れられない場合があります。
- 12.著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 13.塗装面を部分補修する際は、硬化剤の入忘れにご注意ください。汚染から発生の原因になります。
- 14.溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口/空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 15.所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 16.異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。
- 17.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 18.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 19.硬化剤は湿気や硬化しやすいため密栓して貯蔵してください。
- 20.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分ご注意ください。
- 21.塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 22.旧塗膜が塗料用シンナーで容易に溶解するつや有り塗料の場合は、縮みや剥れが発生するおそれがあるため、塗装は避けてください。弱溶剤1液形塗料や水性塗料での塗り替えをお奨めします。
- 23.旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 24.既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 25.改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- 26.風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 27.シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 28.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツ科学校製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科学校製HI500シリーズ：ケツ科インジェで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 29.表面のごみ、ほこり、エプロレッセンス、レタックスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 30.ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において、巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
- 31.新設の押出成形セメント板、GRC板、フキシールボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ1液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 32.塗装場所の気温が5℃未満、もしくは温度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 33.塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 34.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 35.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 36.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 37.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 38.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 39.薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 40.上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしてから標準の使用量、塗装回数で隠れない場合があります。事前に試験施工塗り版等でご確認ください。
- 41.調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 42.濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンプレッシュクイラーを上塗りに塗装してください。クイラーのローラー及び剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や染みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 43.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 44.はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 45.ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 46.塗装方法により色相が多変化する場合がありますので、ローラー塗りができる限り入り開きを入れてください。
- 47.汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 48.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 49.可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩化ビニレート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩化ビニルなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 50.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 51.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 52.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 53.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項



### ニッペファインフツ ホワイト 塗料液

### 横断禁止

- 1.使用前に取扱説明書を手入手してください。
- 2.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 3.熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- 4.容器を密閉しておいてください。
- 5.容器を接地/アースをとってください。
- 6.防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 7.火花を発生させない工具を使用してください。
- 8.静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 9.粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 10.取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 11.この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 12.必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 13.保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 14.皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 15.吸入した場合/気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 16.眼に入った場合/水で数分間注深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合を外せば外してください。その後洗浄を続けてください。
- 17.ばく露またはばく露の懸念がある場合/医師の診断/手当てを受けてください。
- 18.気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 19.緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 20.口をすずいでください。
- 21.皮膚刺激を生じた場合/医師の診断/手当てを受けてください。
- 22.眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けてください。
- 23.汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
- 24.火災の場合/消火に適切な手段を使用してください。
- 25.漏出物を回収してください。
- 26.換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
- 27.旋転して保管してください。
- 28.内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 29.直射日光や水濡れは厳禁です。
- 30.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 31.吸入した場合/空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 32.本来の用途以外に使用しないでください。
- 33.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込みか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 34.容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 35.日光が直射し、換気の悪い場所を保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。
- 36.容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。）
- 37.屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入口等にも目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにしてください。

### ニッペファインフツ 硬化剤

- 1.使用前に取扱説明書を手入手してください。
- 2.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 3.熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- 4.容器を密閉しておいてください。
- 5.容器を接地/アースをとってください。
- 6.防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 7.火花を発生させない工具を使用してください。
- 8.静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 9.粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 10.取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 11.必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 12.保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 13.皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 14.吸入した場合/気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 15.眼に入った場合/水で数分間注深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合を外せば外してください。その後洗浄を続けてください。
- 16.ばく露またはばく露の懸念がある場合/医師の診断/手当てを受けてください。
- 17.気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 18.緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
- 19.口をすずいでください。
- 20.皮膚刺激を生じた場合/医師の診断/手当てを受けてください。
- 21.眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けてください。
- 22.汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
- 23.火災の場合/消火に適切な手段を使用してください。
- 24.漏出物を回収してください。
- 25.換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
- 26.旋転して保管してください。
- 27.内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 28.直射日光や水濡れは厳禁です。
- 29.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 30.吸入した場合/空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 31.本来の用途以外に使用しないでください。
- 32.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込みか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 33.容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 34.日光が直射し、換気の悪い場所を保管してください。輸送中も50℃以上の温度にばく露しないでください。
- 35.屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入口等にも目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにしてください。

危険	危険有害性情報	危険	危険有害性情報
	引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性		引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性

**日本ペイント株式会社**

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名/会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2017 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●ニッペファイン（登録第552632号）日本ペイントホールディングス株式会社の登録商標です。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

https://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo. NP-T149

AA170105T 2017年1月作成